まごころ~栄養課だよりNo.2~H25年7月発行

お水足りてますか? 熱中症対策をしよう!!~

これから、気温が高くなり暑い季節になります。 この季節に特に気をつけないといけないのが、「脱水症状・熱中症」です。 熱中症対策の為、脱水症状の対策をしっかりおこなっていきましょう!!



男性よりも女性、若い人よりも高齢者が脱水になりやすいといわれています。 特に、高齢になると体の中の水分量が少なくなり、

自覚症状も鈍くなるため、周囲も気がつきにくいこともあります。

食事量が少ない人や水分摂取量が少ない方も要注意です。

② どんな症状が出るの?

なんとなく元気がない・舌が乾燥している・夏でも皮膚が乾燥している 尿の色が濃くなる・尿量が減るなどの普段と少し様子が違うことから・・・ 足がつる・立ちくらみがする・めまいがする・汗を拭いても拭いても出てく 頭痛・吐き気・嘔吐・全身のだるさがあるなどのはっきりした症状や 重症の場合、意識障害・けいれんなどが起こります。 ・ 水(沸騰後冷ましたもの)

③ どうやって予防するの?

とにかく、こまめに水分を摂る!のが一番です。

一気飲みは、オススメしません。水分摂取を忘れやすい方は、

「寝起きと寝る前」を習慣づけましょう。

のどが渇いたなあ~っと思った時には、すでに水分不足の状態です! 市販されている「経口補水液」などの活用もオススメですね。

また、食事をしっかり食べることも大切です。

お茶やお水を飲む以外に、食事からも水分摂取は出来ますよ!







管理栄養士:狩野

砂糖 大さじ4と1/2

・塩 小さじ1/2

· 柑橘系果汁 適量

柑橘系果汁を加えると

飲みやすくなります。

砂糖をハチミツに

代えてもOK! 🖊

~こんな工夫をしています

当院では、月に1度「手作リパン」の配膳を行っています!

入院中の患者様へ焼きたての独特な香りや食感・柔らかさなどを楽しんでいただけるようにと考案 しました。

これからも皆様に喜んでいただけるような献立・料理作りをしていきたいと思っています。

~退院時の患者様からの声~

退院アンケートの質問の1つに「料理の味付けはいか がでしたか?」という項目があります。 平成25年3月21日~4月15日の集計結果

満足した・・・76% どちらともいえない・・・24% 不満足…0%

多くの患者様から満足したなどの声を聞くことがで きました。

しかし、制限食などの患者様からは「味付けが薄い」 という声や、

一般食の患者様からは「今日の料理は味付けが薄い」 などの声もありました。

多くの患者様へ満足していただける食事提供へ向け、 さらに多くの声を聞けるよう病棟訪問など実施して います!

調理師:阿久沢

~今が旬の冬瓜



冬瓜は、きゅうりやニガウリと同じく熱をと る夏野菜です。

冬瓜は、インド、東南アジアの熱帯地域が 原産と言われています。 暑い地域には、 熱をとる野菜が多く栽培され、地形とよく 合っています。

熟すと実が固くなり、冬まで倉貯蔵できる ので夏野菜なのに、冬瓜と言う名前が付い ています。

「冬瓜の効能」

成分の多くが水分の為、低カロリーです。 また、ビタミンC、カリウムを豊富に含むの でナトリウムの排出を促進します。

調理師: 阿久澤

患者様からの声を元に改善した料理を紹介させていただきます。

<海老と茄子の味噌炒め>

● 材料(4人分)

冷凍むき海老・・・300g (下湯でしておく)

茄子(80g)···2個

(調味液)

玉ねぎ・・・1/4個

・ 醤油・・・大さじ1/2

ピーマン・・・1/4個

・ 砂糖・・・大さじ1

黄色パプリカ・・・1/4個

・ 豆板醤・・・小さじ1

・ 赤味噌・・・大さじ1

揚げ油・・・適量

・ 酒・・・小さじ1

・・・・小さじ1/2

おろしにんにんく

サラダ油・・・大さじ1

1人分 175Kcal 塩分 1.2g たんぱく質 16.3g

● 作り方

- ① 揚げ油を180度に熱し、食べやすい大きさに切った茄 子・薄くスライスした玉ねぎ・ピーマン・黄色パプリカを 素揚げします。
- ② フライパンにサラダ油を入れ火にかけ、おろしにんにく を香りが出るまで炒めます。
- (3) (2)のフライパンへ調味液を加え、よく混ぜ合わせます。
- 4) 茹でた海老・素揚げした野菜類を盛り付け、 最後に3の タレをかければ完成です!

調理師:久保田



にんにくの香いも食欲をそそいます **a!** また、香いや辛いものが苦手な方は 「にんにく・豆板醤」がなくても美味し いタレが出来ます! 素揚げした茄子を熱湯でさっと洗う と、カロリーカットにもなります!

恵愛堂病院 病院長